

ICT街づくり推進会議 地域懇談会

開催目的

- ICTを街づくり推進会議(以下「推進会議」という。)の構成員等が、地域実証プロジェクトの実施状況を把握するとともに、地方自治体や地域産業界を含む実証プロジェクト関係者との意見交換を通じ、同関係者の声を今後のICTスマートタウン推進方策へ反映させることを目的とする。
- 平成24年度ICT街づくり推進事業で採択された全国5箇所の実証プロジェクトについて、現地を訪問し、実際の取組み状況を把握するとともに、以下の意見交換、議論を実施。

スケジュール

平成25年4月以降、次のとおり、全国5カ所の平成24年度ICT街づくり推進事業の実地地域において開催。

第1回	4月16日(火)	長野県塩尻市	センサーネットワークによる減災情報提供事業
第2回	5月20日(月)	千葉県柏市	柏の葉スマートシティにおけるエネルギー・健康・防災の共通統合プラットフォームの構築
第3回	5月29日(水)	東京都三鷹市	三鷹市コミュニティ創生プロジェクト
第4回	5月31日(金)	愛知県豊田市	平常時の利便性と急病・災害時の安全性を提供する市民参加型ICTスマートタウン
第5回	6月18日(火)	静岡県袋井市	災害時支援物資供給機能を兼ね備えた6次産業化コマース基盤構築事業

日時・場所

●日時・場所:

平成25年5月29日 11:10～12:20 三鷹産業プラザ

参加メンバー

●地域実証プロジェクト関係者:

- ▶ 清原 慶子 三鷹市長
- ▶ 河村 孝 三鷹市副市長・(株)まちづくり三鷹代表取締役社長
- ▶ 河野 康之 三鷹市企画部長
- ▶ 後藤 省二 (株)まちづくり三鷹統括シニアマネージャー
- ▶ 麻生 喜美江 地域包括支援センターはなかいどう介護支援専門員
- ▶ 服部 愛子 見守り支援 参加者

●ICT街づくり推進会議・検討部会関係者:

(下線は推進会議構成員)

- ▶ 岡 素之 住友商事(株)相談役【推進会議座長】
- ▶ 石原 邦夫 東京海上日動火災保険(株) 取締役会長
- ▶ 村上 輝康 産業戦略研究所 代表
- ▶ 石塚 敏之 つくば市企画部部長
- ▶ 神竹 孝至 (株)東芝常務待遇研究開発センター首席技監
- ▶ 齋藤 義男 東日本電信電話(株)ビジネス&オフィス事業推進本部公共営業部長

- ▶ 地平 茂一 一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟企画部部長
- ▶ 庄子 憲義 東京海上日動リスクコンサルティング(株)常務取締役
- ▶ 武市 博明 一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会常務理事
- ▶ 細川 瑞彦 (独)情報通信研究機構経営企画部部長

●総務省:

- ▶ 柴山 昌彦 総務副大臣
- ▶ 吉田 靖 関東総合通信局長 ※司会

実施概要

I. 実証プロジェクトの把握

- 情報伝達制御・要援護者支援システムのデモ
- IP告知システムのデモ
- 駅前Wi-Fiシステムに関する説明 等

II. 意見交換

- (1)三鷹市におけるICT街づくり推進事業の取り組み等について
 - 清原三鷹市長より、「三鷹市コミュニティ創生プロジェクト」の成果について説明
- (2)フリーディスカッション 等

日時・場所

●日時・場所:

平成25年5月29日 15:20～16:30 足助病院

参加メンバー

●地域実証プロジェクト関係者:

- ▶ 太田 稔彦 豊田市長
- ▶ 森川 高行 名古屋大学大学院 教授
- ▶ 小倉 真治 岐阜大学大学院 教授
- ▶ 早川 富博 愛知厚生連 足助病院 院長

●ICT街づくり推進会議・検討部会関係者:

(下線は推進会議構成員)

- ▶ 岡 素之 住友商事(株)相談役【推進会議座長】
- ▶ 梶浦 敏範 (株)日立製作所情報・通信システム社スマート情報システム統括本部
上席研究員
- ▶ 齋藤 義男 東日本電信電話(株)ビジネス&オフィス事業推進本部公共営業部長
- ▶ 佐藤 照幸 富士通(株)スマートシティ推進本部シニアバイスプレジデント
- ▶ 細川 瑞彦 (独)情報通信研究機構経営企画部部長
- ▶ 武藤 俊一 一般財団法人全国地域情報化推進協会企画部担当部長

●総務省:

- ▶ 桜井 俊 情報通信国際戦略局長
- ▶ 高崎 一郎 東海総合通信局長 ※司会

実施概要

I. 実証プロジェクトの把握

- 回数券決裁システムのデモ
- アクティブプローブ情報の活用のデモ
- 救急搬送時のICカード活用方法のデモ 等

II. 意見交換

(1)豊田市におけるICT街づくり推進事業の取組み等について

- 太田豊田市長、名古屋大学、岐阜大学より、
「平常時の利便性と急病・災害時の安全性を提供する市民参加型ICTスマートタウン」の成果について説明

(2)フリーディスカッション 等

日時・場所

●日時・場所:

平成25年6月18日 15:30～16:40 袋井市総合センター

参加メンバー

●地域実証プロジェクト関係者:

- ▶ 原田 英之 袋井市長
- ▶ 池野 良一 袋井市副市長
- ▶ 豊田 富士雄 袋井商工会議所会頭
- ▶ 中村 憲司 (株)大和コンピューター代表取締役社長
- ▶ 三次 仁 慶應義塾大学環境情報学部准教授
- ▶ 稲葉 達也 神奈川工科大学情報学部准教授

●ICT街づくり推進会議・検討部会構成員: (下線は推進会議構成員)

- ▶ 岡 素之 住友商事(株)相談役【推進会議座長】
- ▶ 岩沙 弘道 三井不動産(株)代表取締役会長
- ▶ 河合 輝欣 特定非営利活動法人ASP・SaaS・クラウドコンソーシアム会長
- ▶ 齋藤 義男 東日本電信電話(株)ビジネス&オフィス事業推進本部公共営業部長
- ▶ 佐藤 照幸 富士通(株)スマートシティ推進本部シニアバイスプレジデント
- ▶ 辻田 昌弘 三井不動産(株)S&E総合研究所長
- ▶ 細川 瑞彦 (独)情報通信研究機構経営企画部部長
- ▶ 三崎 文敬 日本IBM(株)スマーター・シティー事業事業企画推進部長
- ▶ 武藤 俊一 一般財団法人全国地域情報化推進協会企画部担当部長

●総務省:

- ▶ 桜井 俊 情報通信国際戦略局長
- ▶ 高崎 一郎 東海総合通信局長 ※司会

実施概要

I. 実証プロジェクトの把握

- 農作物出荷／支援物資搬送システムのデモ
- センサー、ICタグを活用したメロンの生産管理
- QRコードによるトレーサビリティ

II. 意見交換

(1) 袋井市におけるICT街づくり推進事業の取組み等について

- 原田袋井市長、大和コンピューター、慶應義塾大学、袋井商工会議所より、「災害時支援物資供給機能を兼ね備えた6次産業化コマース基盤構築事業」の成果について説明

(2) フリーディスカッション 等

<個人情報取り扱い>

- センサー等から収集されるビッグデータの活用方法が課題。個人情報については、住民の了解を得ながら、住民にプラスになるような形で有効活用すべき。情報セキュリティの確保や個人情報保護のための仕組みを府省横断的に検討することが必要。また、個人が特定できない形にした上で、人の流れ等を分析することも自治体が政策を立案する上で有効。
- センサー等から収集する土中水分情報や医療・健康情報については、収集するだけでなく、専門家や医師、保健師等にデータ見てもらい、有効活用することが必要。

<住民等の参加>

- ICTシステムを単に導入するのではなく、大学生等のボランティアや地域の人が積極的にサポートして、温かい人間関係を構築するためのツールとして活用することが重要。
- カードについてもきちんと住民の方に所持してもらえよう、住民にメリットをきちんと説明し、住民に利用してもらえよう工夫すべき。
- サイネージ等を活用し、住民からの声をフィードバックできる仕組みが必要。

<データ、プラットフォームのオープン化>

- 収集したビッグデータを住民サービスに活用するだけでなく、民間企業に提供する二次利用のための仕組みや、実証で構築した共通プラットフォームをオープンにするような仕組みを検討することが必要。

<普及展開>

- 実証プロジェクトは限定的に実施していると思うが、実証成果等についてより多くの住民の方に関心を持ってもらい、本格的なサービス提供に向けて、規模を拡大していくことが重要。
- 「成功モデルの構築」という実証プロジェクトの目的を念頭に、共通プラットフォームの開発等にあたっては、他の地域への横展開することを念頭にしたシステム設計を行うべき。

<番号制度の活用>

- 番号制度の導入はこれから進められるものだが、実証プロジェクトを実施している地域においては、全国の他の自治体に先駆けて、医療・健康、防災等、番号制度を様々な分野に活用することを検討してほしい。